

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	民間活用による新たな浄化槽整備・管理のあり方検討調査費		担当部署	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	廃棄物対策課浄化槽推進室		浄化槽推進室長 藤塚 哲朗	
会計区分	一般会計		施策名	4-6 浄化槽の整備によるし尿及び雑排水の適正な処理			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>今や下水道と遜色のないレベルとなった合併処理浄化槽の整備について、財政に限られる中で効率的かつ速やかな整備を進め、また、維持管理面においても設置者のニーズ等を踏まえた柔軟な対応を図るため、民間活力を用いた新たな整備・管理手法の検討が必要である。特に浄化槽の整備促進と適正な管理を推進する上で、現状では民間の力をうまく生かし切れていないと考えられるため、民間活力をうまく利用した手法について、官民が連携して取り組んでいく必要がある。</p> <p>本事業の実施により、平成22年6月に決定された「新成長戦略」中で掲げられた「PPPの活用」「地域資源の活用による地方都市の再生」「地域雇用創出」に浄化槽分野として対応し、浄化槽事業の活性化を図っていくものである。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>民間活用による新たな浄化槽整備・維持管理のあり方の検討を行い、官民連携した有効な事業制度を見出すことで浄化槽整備の推進に資するもの。</p> <p>このため、他業種における民間活用事例調査、検討すべき事業制度メニュー及び実施可能性の検討を行う。その上で、PFI事業等、現に民間活用を行っている自治体や有識者と連携し、具体的な課題分析・対応策の検討を行う(検討会の設置を想定)。これらの検討で提示された対応策の具体化について実施可能性を検証する(民間活用に係るモデル事業等を想定)。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	-	-	7	6	0
		繰越し等	-	-	0	0	
		計	-	-	7	6	0
	執行額	-	-	5			
	執行率(%)	%	%	71%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	民間活用による新たな浄化槽整備・管理手法の検討については定量的な成果目標の設定が困難である		成果実績 達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	先進事例調査、検討会実施回数		活動実績 (当初見込み)	回	-	-	12 (12)
単位当たりコスト	442(千円/回)		算出根拠	民間活用による新たな浄化槽整備・管理のあり方検討調査費(5,302千円)/検討会、先進事例調査実施回数(12回)			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	6	0	事業内容を見直した上で「浄化槽指導普及事業費」へ統合したため			
	計	6	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	設置者のニーズ等を踏まえた柔軟な対応を図るため、民間活力を用いた新たな整備・管理手法の検討が必要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	競争入札により、競争性を確保している。また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	既存事例の収集や事業制度メニューの検討によって、具体的な検討テーマが明確となり、次年度以降の検討の効率化を図ることができ、今後も不可欠な事業である。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>既存事例の収集や事業制度メニューの検討によって、具体的な検討テーマが明確となり、次年度以降の検討の効率化を図ることができた。浄化槽整備は民間主体で進んだ側面もあり、官民連携は、浄化槽の市町村設置型事業等、市町村の積極的な整備への関与が前提となる側面もあることから、浄化槽整備計画策定手法の調査検討と連動した形で調査を進めることで、より効率的、効果的な調査を実現できると考えられる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>成果目標及び終了時期を具体的にし、事業内容を重点化することなどにより、効率的かつ効果的な事業実施に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	<p>事業内容を見直した上で「浄化槽指導普及事業費」へ統合し、重複部分を排除することで概算要求額を減額。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	23' 新-007

環境省
5百万円

〔業務内容の企画、実施状況の監督〕



【一般競争入札】

A. 日本上下水道設計(株)
5百万円

〔民間活用による浄化槽整備及び維持管理
の手法検討業務の実施〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.日本上下水道設計(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費		3			
その他	賃金、借料及び損料、印刷製本費、 技術経費、消費税	1			
一般管理費		1			
計		5	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本上下水道設計(株)	民間活用による浄化槽整備及び維持管理の手法検討業務の実施	5	1	80%